山形教区報

立教189年
10月号
第176号

発　行　天理教山形教務支庁　〒994-0027 天童市桜町11番1号
TEL 023-656-8420　FAX 023-656-8425
編　集　広報部　E-mail y_kohobu@yahoo.co.jp

全教一斉にをいがけデー

9月のにをいがけ強調の月を締めくくる「全教一斉にをいがけデー」が9月28日から30日まで、全国各地で開催された。

月末3日間のにをいがけデーに加えて、第1週を「教会長布教実動週間」と定め、教会長が先頭に立ち、活発なにをいがけ実動が求められた本年は、年祭活動を通して定着した布教活動を継続し、更に前へ推し進めるべく、教区管内においても各支部毎に意欲的な活動が展開された。

■中央支部

9月29日は、山形市内の沼木パークタウンという住宅地に、5名の教会長、ようぼくが集まり、約1時間にわたり戸別訪問を行いました。

30日には、9名の教会長らが教務支庁に集合。国道13号線沿いに神名流しを行いながら天童市消防本部前まで移動し、現地で路傍講演を行いました。弁士を務めた2名の教会長は、用意した原稿や教区布教部が独自に作成した路傍講演用のフリップを手に、教えの角目や信仰の素晴らしさを道行く人達に語りかけました。

報告者　藤原隆宏・道友社支部社友

■米沢支部

9月28日は伝国の杜前にて路傍講演を実施。教会長7名を含む12名が集まり、うち7名が弁士を務め、力強く教理を訴えました。

続く29日は川西町内に場所を移し、13名の参加者が戸別訪問などで331部のリーフレットを配布しました。最終日の30日には、米沢市のJR西米沢駅周辺で13名が戸別訪問などに当たり、453部のリーフレットを配りました。

3日間の活動を通じて、改めて日々のにをいがけの大切さを感じ、今後の活発な活動に向けて決意を新たにしました。

報告者　佐々幸雄・米澤分教会長

■置賜支部

当日は肌寒さを感じる中でしたが、教会長4名はじめ6名方々が参加しました。昨年よりも人数は若干少なくなりましたが、その分

心込めてつとめさせて頂きました。
JR高畠駅西口にて路傍講演を行い、その後にをいがけ用のフリップを掲げながら神名流しを行いました。神名流しをしているうちに身も心も温かくなり、清々しい気持ちでつとめることが出来ました。

報告者　大河原清信・置賜支部長

■鶴岡田川支部

9月30日、出羽分教会に教会長3名を含む9名のようぼく、信者の方々が集まりました。当日は好天に恵まれ、絶好のにをいがけ日和でした。お願いづとめをつとめた後、教会近くの交差点で路傍講演を行いました。にをいがけフリップを活用しながら、参加者全員が日々の御守護に感謝しながら、お話を取り次ぎました。

その後、場所を移動し、教会近くの新興住宅街にて、リーフレットをポスティングしながら、神名流しを行いました。

報告者　鈴木伸次・支部社友

■酒田飽海支部

9月28日はJR酒田駅前にて路傍講演を実施しました。当日は大粒の雨が降る中での活動となりましたが、教会長3名、ようぼく3名、他支部の教会長1名の計7名が参加し、うち5名が弁士を務め、天理教の教えや日々の暮らしの中で心豊かに生きることの大切さなどをお伝えしました。29日、30日には、各教会において個別訪問を実施し、地域の方々との触れ合いを大切にしながら、にをいがけ活動に取り組みました。

今後も支部として声を掛け合い、互いに励まし合いながら、この活動を通して得たものを日々のにをいがけ・おたすけに繋げていきたいと思います。

報告者　廣瀬由美・東酒田分教会長

■中央西支部

9月29日午前10時、支部内の教会長、ようぼく4名がJR寒河江駅前に集合。当日は天候にも恵まれ、全員でよろづよ八首を奉唱した後、うち1名が路傍講演を行いました。その後おぢばを遥拝して一旦その場を解散。それぞれが1時間程、市内各所で戸別訪問、にをいがけを行いました。その後再び集合し、反省会を行いました。

なお、28日、30日は各教会ごとに、にをいがけ活動を行いました。

報告者　藤野徹・支部社友

大学生の集いワーク＆トーク
東北ブロックin山形

９月８日から９日まで、「大学生の集いワーク＆トーク（W＆T）東北ブロックin山形」を舟形若あゆ温泉「あゆっこ村コテージ」（舟形町）を会場に開催しました。

W＆Tは大学生層を対象に、同じ地域にゆかりある学生同士がひのきしんや語り合いを通して信仰を深め、親睦を図る行事です。今回は山形教区学生担当委員会が主管し、東北ブロック各教区から学生18名、学生担当委員10名が参加しました。

初日は、ウォーミングアップ、開講式に続いて、２班に分かれて自己紹介を兼ねた「グループタイム」などを行い、入浴後には懇親会を開いて、参加者同士の親睦を図りました。

２日目は、宮城教区学生担当委員会委員長・高橋伸実先生より、陽気ぐらしをテーマにした講話を頂きました。その後講話の内容をもとに、班毎に「自分達に出来る陽気ぐらし」をテーマに振り返りを行い、日々心がけていることや講話を聞いて感じたことなどを話してもらいました。学生達は、感謝の心や思いやりの心で毎日を過ごすこと、おつとめやひのきしんを実行するなど、陽気ぐらしを実践する上で大切にしていることを発表してくれました。

今年３月の学生おぢばがえり大会では、東北ブロック各教区の学担が協力して企画、運営を行い、スムーズに連携を取りながら行事参加しました。そうした経験が蓄積され、今回のW＆Tも山形教区単独ではなく、東北ブロック全体の行事として開催することが出来ました。今後もこうした流れを継続させて、東北の仲間が互いに協力しながら、活動を進めて行きたいと思います。

報告者　松本　真・教区学担委員会委員長

教務支庁舎ひのきしん

9月21日、「教務支庁舎ひのきしん」が実施され、管内各地から19名の教友が参加した。

午前中は、参拝場と研修室の欄間の障子戸を外し、障子紙をはがして水洗いすると共に、敷居にたまったほこりを掃除した。また、庁舎1階のサッシ窓の洗浄では、高圧洗浄機を用いて屋外側にこびり付いた汚れを洗い落とし、屋内側は雑巾で水拭きを行った。また、座布団カバーの洗濯、畳の水拭きやトイレ掃除など、日頃は手の届きにくい箇所の作業も丁寧に行われた。午後からは、主に障子の貼り替え作業が行われた。

昼食には婦人会員手作りの芋煮とおむすびが用意され、参加者は旬の味覚を楽しみながら、終日ひのきしんに尊い汗を流した。

女子青年例会と芋煮会

去る9月19日、教区女子青年例会と芋煮会を行いました。

例会では、「第25回女子青年大会」での婦人会長様のご挨拶の読み合わせを行い、日々の行いに活かせるよう話し合いました。例会後には、芋煮会を行いました。出来上がった芋煮とおにぎりを持って、舞鶴山公園に移動。トンボが飛び交う秋晴れの下、美味しい芋煮とおにぎりを頂きながら、和やかなひとときを過ごしました。参加者は女子青年3名・担当者5名の計8名でした。

報告者　後藤隆子・教区女子青年担当者

第31回女子青年大会バス団参

10月31日～11月1日、女子青年大会参加のバス団参を実施します。

氏名、電話番号、年齢を添えて、各支部婦人会女子青年担当者までお申し込み下さい。

（別席可、片道可、年齢・男女不問）

教務支庁日誌

8月
- 6日　中央支部例会
- 中央支部婦人会例会
- 7日　災救隊例会
- 9日　少年会のつどい
- 23日　女子青年例会
- 29日　災救隊教区訓練　～30日

9月
- 1日　婦人会のつどい
- 2日　主事会　教区例会
- 6日　中央支部例会
- 8日　大学生の集いW&T
- 東北ブロックin山形　～9日
- 19日　女子青年例会
- 21日　教務支庁ひのきしん